

平成29・30年度
深い学びにより主体的に未来を切り拓く
高校生育成事業

深い学び研究協議会 指導事例集

平成31年3月

青森県教育委員会

まえがき

今の子どもたちが、成人して社会で活躍する頃には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等に伴う社会構造や雇用環境の変化により、予測困難な時代が到来するといわれています。

また、選挙権年齢及び成年年齢が18歳に引き下げられ、生徒にとって政治や社会が一層身近なものとなる中、学校教育には、生徒一人一人に社会で求められる資質・能力を育み、生涯にわたって探究を深める未来の創り手として送り出していくことが求められています。

こうした時代を生きる子どもたちに、伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を身に付けるため、青森県教育委員会では、施策の柱の一つに「学ぶ意欲や主体的に探究する力の向上」を掲げ、自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に探究する力、発信する力の育成に取り組んでいます。この中で高等学校において、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」の実現と、未来を切り拓いていく力の育成を図ることを目的として、平成29・30年度の2年間にわたり「深い学びにより主体的に未来を切り拓く高校生育成事業」を実施してきました。

その取組の一つとして、各教科における「深い学び」の実現に向けた研究協議を行うことを目的に「深い学び研究協議会」を設置し、教科の特性を生かした「深い学び」の実現に向けた実践の在り方や、実践に当たった課題等について協議を行い、研究授業を実施するなどしながら、指導事例についての検討を重ねてきました。

本事例集は、各教科のワーキンググループにおいて検討を重ねてきた指導事例をまとめたものです。各校においては、これまでの実践を踏まえつつ、この事例集を活用しながら、今後、さらに「深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していただくことを期待しています。

結びに、深い学び研究協議会の設置に当たり、御支援いただきました県高等学校教育研究会の各部会及び深い学び研究協議会委員・ワーキンググループメンバーとして、本事例集の作成に御協力いただきました教員の方々に対して、心から感謝申し上げます。

平成31年3月

青森県教育庁

学校教育課長 長内修吾

目 次

まえがき

国 語 1

地理歴史・公民 36

数 学 69

理 科 101

外 国 語 138

深い学び研究協議会

委員・ワーキンググループメンバー一覧 162